

サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

共通評価項目	
サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している 評点(A)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している <input type="radio"/>非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし	
サブカテゴリ1の講評	
<p>園だより、ホームページは写真やイラストを多くして読みやすいものになっている。また、事務室の近くには、当園で行われている各種活動が写真入りで掲示されており、園の雰囲気や様子が一目で分かるよう工夫されている。外国人ご夫妻の子どもが園に通っていたときは、職員が絵で示すなどコミュニケーション向上に努めた。このように保護者の特性を考慮するなど、園の情報をなるべく利用者に伝えようとする取り組みを行っている。</p> <p>「園だより」では、園での行事の様子や保護者に向けて折々に必要なことを伝えたり、看護師から「保健だより」として季節に対応した保健衛生、給食室から「給食だより」として季節・行事にちなんだ食事の案内等が配布されており、園内の温かい雰囲気を伝えている。</p> <p>見学希望者は随時受け入れている。平日の夕方や土曜日のなど保護者の希望にあわせて柔軟に対応している。見学者には見学用のしおりを渡して、職員が付き添いながら説明している。また園児の午睡時に見学があった場合は、影響のないようにと注意を促しながら見学者に対応している。</p>	
サブカテゴリ2	
2	サービスの開始・終了時の対応
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(A)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している <input type="radio"/>非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし	

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリ2の講評

入園前の新入園時面接(保育士・看護師・栄養士が立ち会って説明)や入園後すぐの保護者会で重要事項等について説明している。また利便性や保育方針を助案して保育所を選択することが基本であるため、保護者には新入園時面接で園の取り組みについて十分に説明し、納得していただいた上で入園をお願いしている。

新入園時面接のときに、園児の基本的な情報が記載されている新入園児面接票や児童票を使って口頭で保護者の同意を得ている。またサービス終了時については、現担任が新しい環境に対し不安になることが保護者を最も不安にさせるため、担任は転園先の情報を積極的に提供する等保護者が心配することのないよう心遣いしている。

乳児については、当初1週間～10日間は慣らし保育として2時間程度から始めることも可能とするなど、個別対応によりゆったりと環境になじませる。これにより園生活がスムーズになり、保護者の就業も順調にスタートできる。尚、年少・年中・年長組についても、利用開始直後は子どもによっては長時間の保育が負担になるので保育時間を短くするなど個別対応を可能としている。

サブカテゴリ3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1 必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目2 必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
評価項目3 必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(A)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリ3の講評

子どもの心身状況や生活状況等は、保護者の登降園時、また年1回の個人面談を通して把握している。把握した情報は児童票、保育経過記録などに記載している。当園では丈夫な体をつくるため、ほぼ毎日散歩を実施している。また、活動の計画は口頭や連絡帳で保護者に伝え、必ず同意を得ている。

計画は基本的に毎月見直しを行っている。まずは複数人配置されているクラス担任が相談して原案を作成する。その後、主任やリーダーと相談後、園長に確認を取っている。さらに、決定した計画は朝のリーダーミーティングで周知徹底している。また保育経過記録は幼児については年3回の目安で、経過を記録している。0歳児・1歳児については1ヶ月に1回、2歳児は年4回の割合で記録している。個別支援保育対象児は別途詳細な経過記録を記録している。

計画の内容や個人の記録は、クラスごとにファイルをつくり、共有棚に保管している。また、朝のミーティング、リーダー会議、職員会議で共有化を図っている。朝7時15分から8時半、夕方16時半から18時15分の合同保育においては、合同保育担当者から各職員へ、担任から合同保育担当へと連絡ノートを活用して確実な申し送りが行われている。朝の合同保育では保護者からの引継ぎ等、伝達事項を口頭と書面のふたつを活用して子どもについての情報を共有化している。

サブカテゴリ5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目1

子どものプライバシー保護を徹底している

評点(A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外者とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している

評点(A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

サブカテゴリ5の講評

ホームページへの写真の掲載の際には保護者の了解を必ず取っている。おもしろしをしたときは年齢に応じて着替えの場所を考慮している。また、園児に対しては人前で叱ることをせず、子どもの気持ちに配慮した取り組みを行っている。さらに各々の家庭の宗教・信条を理解、外国人の習慣を受容、障害を持つ子の家庭の心情・思いを尊重するなど、子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている。

園児を呼び捨てにしない、よい行動はほめる、注意するときは保育士は膝をついて諭す、また保護者の迎えが遅れるときは子どもにもその旨を伝える等、子ども一人ひとりを尊重した保育を実施している。また、職員の不適切な言動があった時は、職員同士でお互いに注意合ったり、職員会議で全体の注意事項として話し合うなど職員内で改善の仕組みができあがっている。それでも改善されない場合は、園長から本人へ注意を喚起することとなっている。

個人情報保護については、職員に厳しく教育している。プライバシーを知る事により万が一情報が漏れる恐れがある場合には、担任保育士以外には知らせない等の選択をとる場合もある。情報の共有を全てすればよいというものではなく、情報の内容によって対応をきちんと区別している。

サブカテゴリ6

6 事業所業務の標準化

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点 (A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点 (A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

[A+の取り組み] あり なし

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(A)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

【A+の取り組み】 あり なし

サブカテゴリ6の講評

マニュアルはできるだけ現場での気づき・経験・建設的な意見をだしてもらい、これをベースに一般的なマニュアルも参考にして作成している。かつ地域社会の状況に応じて加えるべきもの、変える方がよい事項を現場から拾いあげ、各リーダーが職員会議で提案して検討する。マニュアルの見直しについては、年度末に各種マニュアルの見直しを実施の予定。

マニュアルはなるべく手元に置きすぐに活用できるようにしている。特に感染症やアレルギーといった保健に関わるマニュアルはよく活用している。

園の門は朝夕の送迎時を除き常に施錠し、カメラで確認の上で開錠している。園外に出かけるときは必ずその届けを出すことになっており、子どもの安全性に配慮した取り組みが確実に継続されている。

サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし			
評価項目1の講評			
散歩には頻繁に出かける。子どもたちは歩くため、自然とバランス感覚が身につき、運動能力が高まり怪我をしなくなるなど自律神経が発達する効果も出ているようである。また、子どもたちは体を動かすと温かくなることを知っており、寒いときでも外で活発に遊びまわっている。また暑い季節も同様野外、園外遊びの時間が多くあり、自然の中の体験・遊びを通して豊かな感性を身につける保育に加え、街中の商店街等の見学・交流など社会性を身に付けることも目的としている。 障害のある子どもを担当している職員は当該児が親と専門機関へ発達相談・心理相談・機能訓練等に通院する時、親の同意を得て同行し、その子の特性に応じた保育・対応ができるようにしている。障害のある子どもについては通常の記録、保育経過記録のほか、「個別支援保育記録」や「連絡ノート」を記録し、職員同士の情報の共有化や保護者とのコミュニケーションの強化を図ることとしている。			
2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当
[A+の取り組み] <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし			

評価項目2の講評

日常の食事を和食中心にして、食事を楽しむ工夫をしている。また、食物アレルギーに配慮した除去食・代替食の提供を行っており、さらに乳児には個別に配慮した授乳量としたり、苦手なものは無理に与えない離乳食を提供している。

好き嫌いのある子どもには、いやがるものを無理に食べさせることはしないよう指導している。調理方法を工夫したり、少量から初めて、褒め、で達成感を与え、次回につなげる工夫をしている。

食材については、当日納品で新鮮なものとしている。野菜・果物・肉・魚等の仕入先には、より良い物を納品することを依頼しており、コストは高めだが、食の充実という経営方針を堅持している。

評価項目3

子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている

評点(A)

3

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当

【A+の取り組み】 あり なし

評価項目3の講評

身長、体重、カウプ指数ほか健康の基本的なデータをまとめた「健康診断記録」、「感染症記録」、「アレルギー記録」といった子どもの健康状態を記した各種記録類が充実している。また乳児については、身長・体重の経過を一目で把握できるようにしている。子どもの成長の様子を把握するため、頭囲・胸囲を継続的に計測し、そのバランスの確認を行っている。

小児医療にかけては、看護師があり、園児のみならず保護者や職員も医療に関する相談をまず看護師にして、支援を得ている。嘱託医との連携もよく、常に感染症その他の必要事項を保育士等に連絡し、園からの要請に応じて指導を与えている。

感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報は、入園時に保護者に知らせている。感染症については保健だよりに掲載し、予防に努めている。

4	評価項目4 園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生日会、季節の行事など)	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
	【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
評価項目4の講評			
園舎は新しく、子ども達にとって安らぎと温もりのある楽しい居場所となっている。また、就学前の年長児でも体調等に配慮し、状況によって午睡をする等子ども状況に合わせた昼寝を実施している。			
行事は、毎月の誕生日会と季節の行事(年8回)を実施。園児の成長を祝い、本人に成長実感をもたらすとともに、季節の行事では季節感を味わうことを目的としている。			
5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目5の講評

育児での悩みや困ったこと(家庭育児、保健、離乳食、病気、アレルギー、発達で気になること)等面談は随時可能である。これには看護師、保育士、栄養士が対応している。また、日常のちょっとしたこと等は担当・園長とも随時対応し、電話での相談も随時受け付けている。

「園だより」では、園での行事の様子や保護者に向けて折々に必要なことを伝えたり、看護師から「保健だより」として季節に対応した保健衛生、給食室から「給食だより」として季節・行事にちなんだ食事の案内等が配布されており、園内の温かい雰囲気を伝えている。

園児の日々の様子や月の行事についての写真を掲示し、送迎時に保護者が閲覧して安心と理解を深めていただけるよう配慮している。

評価項目6

虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている

評点(A)

6

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

【A+の取り組み】 あり なし

評価項目6の講評

勉強会に参加し、虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援に関する知識の理解に努めている。また、「児童虐待防止マニュアル」がありその中には、児童虐待に気づくためのポイントや虐待可能性のチェックといった児童虐待を早期のうちに発見することができる内容が書かれている。また、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得た場合は、園長に速やかに報告し、支援センター等に連絡するといった手順や体制について記されている。

7	評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(A)
	評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人への参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価項目7の講評			
園内に掲示板が設置されており、そこに近隣の行事や地域の情報を掲示している。世代間交流として老人保健施設の慰問なども行っており、核家族化、少子化で兄弟、姉妹、祖父母との生活が少ない現在、その経験を少しでも味わい、人との接し方を学び、思いやり、いたわりの心が育つように心がけている。			